

1. 普通学級数と児童生徒数の推移

単位：級・人

	平成8年度		平成25年度		令和6年度	
	級数	児童 生徒数	級数	児童 生徒数	級数	児童 生徒数
栗山小	18	569	15	453	12	313
雨煙別小	2	34	-	-	-	-
角田小	6	111	5	49	5	54
杵臼小	3	24	-	-	-	-
継立小	6	117	6	54	5	41
栗山中	12	452	9	288	7	257
継立中	3	71	3	42	-	-
合 計	50	1,378	38	886	29	665

※平成8・25年度は5月1日現在。令和6年度は4月1日現在。

※級数は普通学級数

検討にあたってのポイント

・児童生徒数は、現在の小学校3校に集約される直前（平成8年度、1,378人）から現在（令和6年度、665人）までに713人減少しています。

2. 普通学級数と児童生徒数の将来予測

単位：級・人

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	級数	児童生徒数	級数	児童生徒数	級数	児童生徒数	級数	児童生徒数	級数	児童生徒数	級数	児童生徒数
栗山小	12	294	11	292	11	276	11	264	10	242	9	235
角田小	4	45	4	43	4	45	4	47	5	44	5	41
継立小	4	39	4	32	3	22	3	18	3	14	3	17
栗山中	8	260	7	236	7	232	6	206	6	201	6	176
合 計	28	638	26	603	25	575	24	535	24	501	23	469

※令和6年4月1日時点の住民基本台帳に基づき推計

※特別支援学級の小学1年生数は令和6年度と同数と仮定して推計

検討にあたってのポイント

- ・今後も児童生徒数は減少する見込みです。（令和6年度→令和12年度196人減）

3. 栗山小学校の普通学級数と児童数の将来予測

単位：級・人

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数
1年	2	43	2	50	2	43	1	32	1	31	1	36
2年	2	43	2	43	2	50	2	43	1	32	1	31
3年	2	53	2	43	2	43	2	50	2	43	1	32
4年	2	44	2	53	2	43	2	43	2	50	2	43
5年	2	59	1	44	2	53	2	43	2	43	2	50
6年	2	52	2	59	1	44	2	53	2	43	2	43
合計	12	294	11	292	11	276	11	264	10	242	9	235

※令和6年4月1日時点の住民基本台帳に基づき推計

※特別支援学級の小学1年生数は令和6年度と同数と仮定して推計

検討にあたってのポイント

- ・ 令和8年度に1クラスになる学年（5年生）が発生し、適正規模が維持できなくなる見込みです。
- ・ 令和10年度から1年生が1クラスになる見込みです。

4. 角田小学校の普通学級数と児童数の将来予測

単位：級・人

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数
1年	1	6	1	9	1	9	1	8	1	5	1	4
2年	1	7	1	6	1	9	1	9	1	8	1	5
3年		8	1	7	1	6	1	9	1	9	1	8
4年	1	6		8		7		6	1	9	1	9
5年		7	1	6	1	8	1	7	1	6	1	9
6年	1	11		7		6		8		7		6
合計	4	45	4	43	4	45	4	47	5	44	5	41

※令和6年4月1日時点の住民基本台帳に基づき推計

※特別支援学級の小学1年生数は令和6年度と同数と仮定して推計

検討にあたってのポイント

・角田小学校は既に複式学級が発生しており、児童数・級数共に同様の傾向が続く見込みです。

5. 継立小学校の普通学級数と児童数の将来予測

単位：級・人

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数
1年	1	4	1	2	1	1	1	3	1	2	1	5
2年		2		4		2		1		3		2
3年	1	6	1	2	1	4	1	2	1	1	1	3
4年		7		6		2		4		2		1
5年	1	11	1	7	1	6	1	2	1	4	1	2
6年	1	9	1	11		7		6		2		4
合計	4	39	4	32	3	22	3	18	3	14	3	17

※令和6年4月1日時点の住民基本台帳に基づき推計

※特別支援学級の小学1年生数は令和6年度と同数と仮定して推計

検討にあたってのポイント

- ・ 令和9年度の1年生は、1名になる見込みです。
- ・ 令和9年度から、全学年で複式学級になる見込みです。
- ・ 令和9年度の全校児童数は、22名になる見込みです。

6. 栗山中学校の普通学級数と生徒数の予測

単位：級・人

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	級数	生徒数	級数	生徒数	級数	生徒数	級数	生徒数	級数	生徒数	級数	生徒数
1年	3	83	3	72	3	77	2	57	2	67	2	52
2年	2	81	2	83	2	72	2	77	2	57	2	67
3年	3	96	2	81	2	83	2	72	2	77	2	57
合計	8	260	7	236	7	232	6	206	6	201	6	176

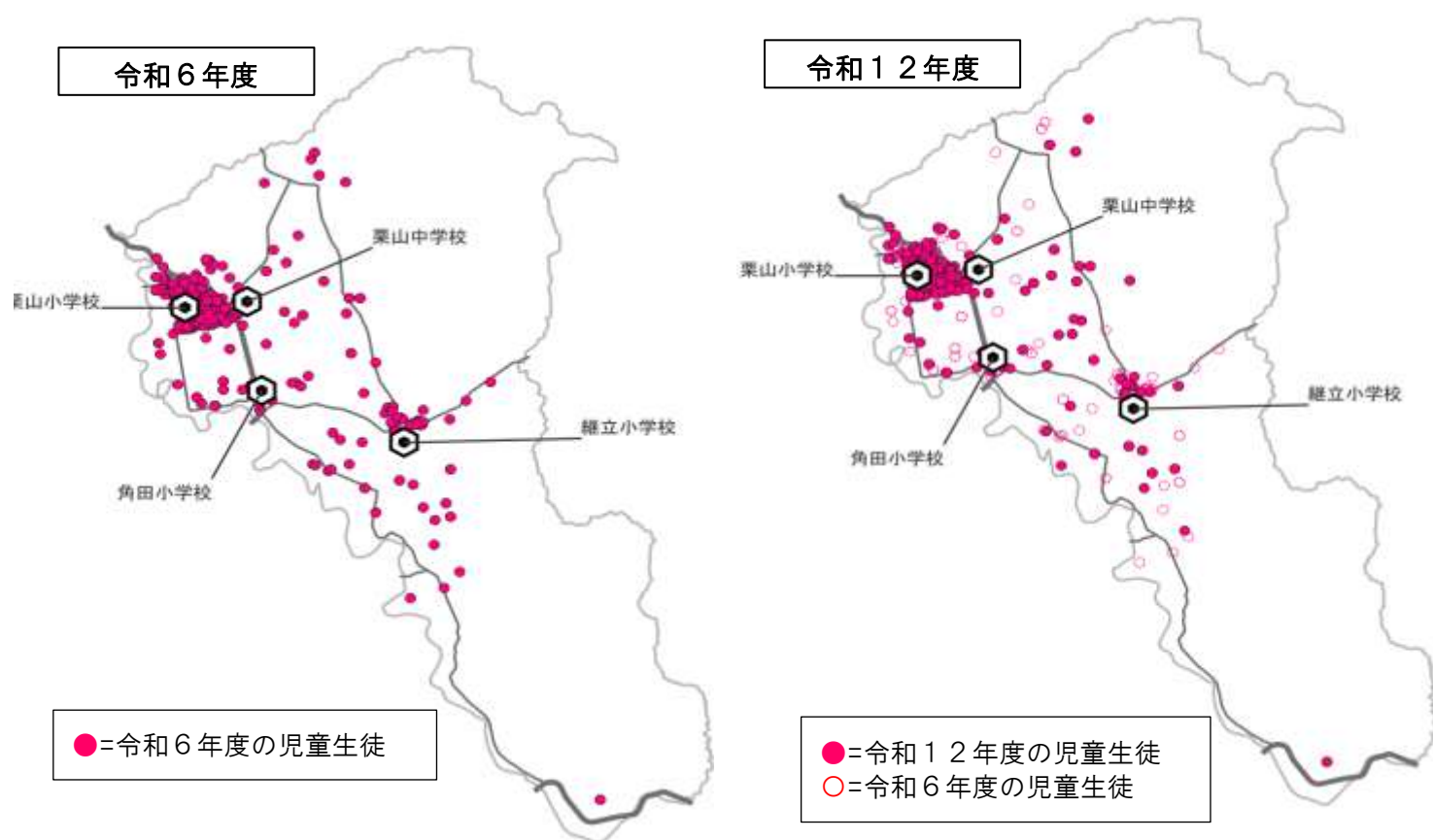
※令和6年4月1日時点の住民基本台帳に基づき推計

※特別支援学級の小学1年生数は令和6年度と同数と仮定して推計

検討にあたってのポイント

- ・ 令和10年度から小規模基準の最低数の6学級になる見込みです。

7. 現小中学校の位置と児童生徒の分布



検討にあたってのポイント

・学校を配置する位置は、通学時の安全はもとより、交通機関の整備状況、他の教育関連施設の利活用に関わる利便性などに配慮する必要があり、加えて保護者の負担や地域との関係性も考慮しなければなりません。

・本町は南北に長い地形となっており、北西部に児童生徒が集中しています。また、北西部の中でも国道 234 号の西側に児童生徒が集中しており、令和 12 年度の見込みもその傾向は変わりません。

8. 校舎等の竣工日と構造

▼小学校校舎等

学校名	竣工日	延面積 (㎡)	構造	普通教室数
栗山小 (校舎部分)	S53.10.1	6,135.61	RC	25
栗山小 (体育館部分)	S54.4.1	1,265.62	SRC	-
角田小 (校舎部分)	S62.1.31	2,292.61	RC	7
角田小 (体育館部分)	S62.12.11	815.25	SRC	-
継立小 (校舎部分)	S56.11.30	2,926.69	RC	8
継立小 (体育館部分)	S57.12.13	830.31	SRC	-

▼中学校校舎等

学校名	竣工日	延面積 (㎡)	構造	普通教室数
栗山中 (校舎部分)	H10.10.8	5,264.36	RC	13
栗山中 (体育館部分)	S45.4.1	1,167.15	S	-

※RC:鉄筋コンクリート造 SRC:鉄骨鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造

検討にあたってのポイント

・ 小学校の校舎及び体育館は築30年以上を経過しているため、大規模な改修或いは新校舎の建築が不可欠な状況にあります。

・ 中学校体育館については築40年以上を経過しているため大規模な改修或いは新体育館の建築が不可欠な状況にあります。

・ 学校施設に求められる機能は多様化しており、少人数教育に適した教室やICT (情報通信技術) 環境の整備等のほか、ユニバーサルデザインの導入、環境負荷の低減等への配慮が必要です。